

4 多様な学習指導の 構想

(2) 体験の生かし方を 工夫した学習指導

指導のポイント

- 読み物資料を効果的に生かすには、登場人物への共感を中心とした展開にするだけでなく、その資料の特質に応じて、資料の提示の仕方や取扱いについて一層工夫が必要です。

具体的事例

- 体験活動等を生かした道徳の授業の充実に向けて・・・

- ・ 体験を補助資料として活用する。
- ・ 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動などに関連させる。
- ・ 体験を資料化する。
- ・ 体験的な活動を道徳の時間に一部取り入れる。

体験を補助資料として活用

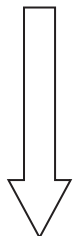
学校行事などの体験活動の記録の一部を道徳の時間の導入や展開、終末の段階で活用します。

例：新入生オリエンテーションで感じたことや頑張りたいことを書いた作文や体育祭後の保護者の感想、生徒の写真などを補助資料として活用します。

各教科、総合的な学習の時間及び特別活動などとの関連

道徳の時間を要として各教科等との関連を図りながら、体験活動を生かした道徳授業の指導計画を構想します。

例： 総合的な学習の時間（福祉）
「介護体験」「福祉施設での介護体験」



道徳の時間

資料名「母の誘い」（「彩の国の道徳 中学校 自分をみつめて」）の導入として、総合的な学習の時間に行った介護体験の写真を提示します。道徳の時間で生徒が振り返りながら考えることができます。

体験活動の感想を学級通信や朝の会や帰りの会の1分間スピーチ等で取り上げ、生徒相互の考えを共有する。

体験の資料化

実際の体験活動の内容と似た題材を資料化して道徳の時間で活用し、自分とのかかわりで、ねらいとする道徳的価値をとらえやすいようにします。

例：合唱コンクールに向けての取組を素材（利己心の克服・集団生活の向上）としたり、職場体験活動後の生徒作文（勤労の尊さ・社会への奉仕）をもとにしたりして作成します。

直接体験したことを題材にすると、自分のこととして感じたり考えたりすることができます。



Point

- 生徒作文をもとにする場合、作文を書いた生徒の事前了解を得て、興味だけが先行しないようにしましょう。
- 学級の諸問題の課題解決的な学級活動の時間とないように留意しましょう。

体験的な活動を道徳の時間に取り入れる

資料は体験の一つのモデルです。資料の中のできごとを自分のこととして考えられるように、様々な学習活動を工夫してみましょう。

例：自分の考えや気持ちを素直に言葉に出して言うことができる役割演技や動作化、劇化

- 役割演技や動作化などの表現活動を行う場合、見る側になる生徒への配慮も大切です。



縄文杉の実際の大きさを確認



自然体験学習に関連した学年道徳



「いのちの大切さ」の講演会

留意点

- 道徳の時間に取り入れる体験的な活動は、道徳的価値を深めるための手段であり、直接的な体験そのものを行うものではありません。